

# 一時預かり事業（幼稚園型）における充実（2019年度～）

## 【背景】

- ・ 幼稚園における預かり保育の充実を図るため、幼稚園の有する様々な課題に対応して、補助単価の増額等をこれまで順次実施。
- ・ 「経済財政運営と改革の基本方針2018について」に基づく預かり保育の無償化に伴い、幼稚園を希望する保育を必要とする者のために質の高い預かり保育で受入れる体制を確保することは重要。そのためには預かり時間の長時間化・長期休業中も含めた通年開所を行う園への支援が必要。

新

- 【2019年度の新たな措置】 要件詳細は検討中
- 従来の措置（基本分単価、長時間加算等）による職員配置に加え、**職員1名の追加配置を可能とする加算を創設**する（以下の要件を満たすことが必要）。
- ✓ 担当職員を全て有資格者（幼稚園教諭又は保育士）とすること
  - ✓ 長時間・通年での預かりを行うこと
  - ✓ 一定数以上の児童を預かること
- 加算単価：150万円程度（施設・年）

## 【参考】これまでの充実策の流れ

